



社長のための 経営雑学

新しい時代を切り拓く実践経営情報紙

第 304 号

平成 30 年 5 月 10 日（木）

発行 税理士法人 KJ グループ
〒536-0006 大阪府野江 4 丁目 1 番 6 号
TEL : (06) 6930-6388
FAX : (06) 6930-6389

「ポイント」で投資できる資産運用サービス！ 低リスク・手軽さが金融商品のトレンドになるか

年金への不安や低金利の貯蓄を避けて資産運用を始める若年層が増えているが、他方で「リスクが怖い」「投資原資がない」という声も多い。若年層市場の開拓に各社が知恵を絞るなか、“究極”ともいえる低リスク商品が、注目を集める。

㈱クレディセゾン は 2016 年 12 月から、クレジットカードに付与するポイントで投資を体験できる「ポイント運用」サービスを開始。利用者は 13 万人に達する人気ぶりだ。有効期限がない「永久不滅ポイント」も同社のウリだが、この永久不滅ポイントを擬似的に投資する。運用は「アクティブ」「バランス」「日本株（TOPIX）」「アメリカ株（V00）」の 4 コースで「つみたて機能」もある。運用次第でポイントが増減し、換金もできないが、ポイントとしては実利になる。ポイントは非課税扱いである点も人気の一因だろう。

ポイントを実際の投資の元本に使えるのがインヴァスト証券の「インヴァストカード」だ。㈱ジャックスと提携し、「日本初のポイント積立投資専用」と謳ったクレジットカードを発行した。還元率は 1 % で毎月換金も可能だが、ポイントを世界の E T F （上場投資信託）に自動的に投資することで長期的には高い収益も狙えるという。

二つのサービスにも共通するのは、リスクを抑えつつ、「買い物のついでに」の感覚で資産運用が行える点。こうした気軽さが若年層向けの金融商品では“キーポイント”になりそうだ。